

# シラバス

教 科	科 目	単位数	学 年	コ ー ス	組
地歴公民	N 世界史	3	3	文系GA	3・4

教科書	山川出版社『詳説世界史』(世探704)	副教材	最新世界史図説タペストリー 二十二訂版(帝国書院)

科目の目標	<p>第一次世界大戦が勃発するまでの各国の外交関係を理解し、帝国主義的国家戦略のもとにおける列強諸国の動向を理解する。また、第一次世界大戦後の戦間期における各国の状況を俯瞰し、第2次世界大戦に至る経緯とその要因を考察する。資本主義と社会主義のイデオロギーを理解した上で、冷静構造および現代に至るまでの流れを理解する。</p>
-------	--

科目の概要	<p>第二次大戦後も、各地での戦争・紛争は絶えることなく勃発し、環境問題・さらには宗教間の対立など、我々の生活を脅かす多くの問題が生じている。ではなぜ、そのようなことが起こるのか。どのような原因があるのかを理解するためには、過去を多角的に考察していく必要がある。世界史は過去を学び、未来へつなげる建設的な科目であるといえる。</p>
-------	--

観点別評価			
3 観 点	○「知識・技能」	○「思考力・判断力・表現力」	○「主体的に学びに向かう態度」
10 の 力	①「知力・学力」	②「課題対応力」、③「論理的思考力」、 ④「原因分析力」、⑤「傾聴力」、⑥「受信・発信力」、⑦「協働力」	⑧「行動力」、⑨「自己管理能力」、⑩「自己実現力」
観 点 の 評 価	世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる諸事象について、地理的条件や日本の歴史と関連づけながら理解している。また、諸資料から世界の歴史に関するさまざまな情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身につけている。	捉えた事実に即して課題を発見し、その課題を解決するためにどのような取り組みが必要となるのか考える力を高める。また、課題や解決方法について他者の意見や論理について触れることで、より妥当な知恵を見出し、それらを適切に言語化する力を身につける。	授業の内外で、歴史に対して興味や関心を深め、積極的に学習する力を高める。歴史的思考力を大事にして、現在の社会のありようを捉え、自分が社会のなかで何ができるかを考え、よりよい社会の実現に向けて行動する力を身につける。
評 価 の 方 法	・定期試験	・レポート課題など文章化した成果物やプレゼンテーション ・課題を見つけ、解決する過程での議論の様子	・授業中の活動 ・課題への取り組み方 ・自主的な学習や活動

# シラバス

学 習 計 画		
学期	学 習 内 容 ( 単 元 )	単 元 別 学 習 目 標
1 学 期	第12章 産業革命と環大西洋革命 1～4  【1学期 中間試験】 5月19日～22日	産業革命期のイギリスは、世界経済とどのように結びついていたのかを理解する。 産業革命が世界経済や社会に与えた影響を考察する。 どのような歴史的経緯をたどってアメリカ合衆国が独立したのかを理解する。 フランス革命前後の国家体制の変化を理解し、ナポレオンがもたらした功罪を考察する。
	第13章 イギリスの優位と欧米国民国家の形成 1～4 第14章 アジア諸地域の動揺 1～3  【1学期 期末試験】 7月1日～7日	1850年代から70年代におけるヨーロッパ諸国の変革について各国の情勢を探りながら理解する。 イタリアの統一過程とドイツの統一過程を比較しながら考察する。 アメリカ合衆国の急速な発展要因について考察し、領土の拡大が与えた社会への影響を理解する。 ヨーロッパ諸国の進出に対し、アジア諸国の政権や人々がどのように対応したのかを理解する。
2 学 期	第15章 帝国主義とアジアの民族運動 1～3 第16章 第一次世界大戦と世界の変容 1～3  【2学期 中間試験】 10月14日～17日	第一次世界大戦の勃発と経過を概観するとともに、ロシアのソヴィエト政権成立過程を理解する。 ヴェルサイユ体制下における各国の状況を整理し、各国の動向を比較しながらその特徴を理解する。 インド、西アジア、アフリカ地域の民族運動を概観し、戦間期における列強諸国との関係性を考察する。
	第17章 第二次世界大戦と新しい国際秩序の形成 1～3  【2学期 期末試験】 12月1日～5日	世界恐慌発生の要因を理解し、各国の対応について理解する。 ファシズムの台頭について、イタリア・ドイツの国内事情を考察し、日本も含めた軍事政権の結びつきについてその要因を理解する。 第二次世界大戦後の国際秩序について、第一次世界大戦後の状況と比較しながら、その違いについて考察する。
3 学 期	特別編成授業 生徒の進路および希望に合わせて受験講座と教養講座を設置する。	受験講座：大学入試問題に対応できる力を身につける。  教養講座：各自の興味・関心に合わせて、さまざまな分野の学習体験を通じて教養を深める。